

2. アンケートに見る現況・課題

羽幌町の自然環境の現況と課題のまとめ

本章では、羽幌町の環境についての評価、環境問題に対する意識、羽幌町内の自然や景観の中で好き・嫌いな場所、なくなりそうなもの、残したいものについて、それぞれの設問に対する回答の集計・解析結果及び、その中から読み取ることができる現況と課題を取りまとめた内容を述べていく。

以下に、本章で明らかとなった現況と課題について、特に重要な事柄を以下に示した。

<満足している>

- ・ サンセットビーチからの「夕日」等のような羽幌町の特徴的な景観
- ・ 「バラ園」、「公園」のような良好な景観や憩い、レクリエーションの場所
- ・ 「オンコ林」や「山」「森林」といった自然景観

<不満を感じる>

- ・ 「旧羽幌川」「海」の汚濁や悪臭
- ・ 「海（サンセットビーチ等）」のゴミのポイ捨てや不法投棄
- ・ ゴミのポイ捨て等のため「まちなみ景観」が悪い
- ・ 生息環境の悪化や天敵の影響などによる「オロロン鳥」の減少

<現況と課題>

- 「河川・海などの水辺の環境」
 - ・ 「旧羽幌川」や「海」といった水辺の環境の生活排水や農薬、ゴミの不法投棄などによる水質汚濁や悪臭、水生生物の減少等の水辺の環境の悪化が問題視されている
- 「良好な景観」
 - ・ 「オンコ林」や「山」「森林」といった良好な自然景観を保全すべきと考えられている
 - ・ サンセットビーチの様な景観スポットや市街地におけるまちなみ景観、「バラ園」、「公園」の様な良好な景観を持つ場所については、ゴミのポイ捨てや不法投棄が景観阻害要因として問題視されている
- 「ゴミの不法投棄」
 - ・ 「河川・海などの水辺の環境」、「良好な景観」においてゴミのポイ捨てと不法投棄が共通して問題視されている
 - ・ 近年のゴミ分別回収の実施により、“ゴミ”に対する問題意識が高まっている
- 「オロロン鳥」
 - ・ 報道等により、“絶滅の危機にある”ことがよく知られており、保護の意識が高い
 - ・ 「貴重な自然」であり、また、重要な「観光資源」であることから、「オロロン鳥」の保護が必要であると考えられている
 - ・ 「観光資源」だから保護していくといった考えから、貴重なオロロン鳥を含めた「自然環境」を守る意識にまで高める必要がある

